

東アジア地域協力の拡大の現状

平成18年11月

➤背景①: 域内諸国の経済発展とグローバル化により相互依存関係が深化

- この10年で、貿易額は、日中間は4倍、中韓間は8倍、中ASEAN間は6倍に増加。
- 域内貿易依存度の拡大 ('80年 33.6%→'04年 55.9%) ('04年NAFTA:43.5%,EU:65.7%)

➤背景②: 地域協力の重要性の認識の高まり

- アジア通貨危機(97年)／米国同時多発テロ(01年)

➤相互依存関係の深化に伴い各種機能的協力が進展

- | | | |
|-----------------|--|---------------------------------------|
| ➤貿易・投資(FTA網の発達) | ➤金融(チェンマイ・イニシアティブ、
アジア債券市場育成イニシアティブ等) | ➤国境を越える問題
(テロ、不正薬物取引、海賊、人身取引、不拡散等) |
| ➤エネルギー | | ➤津波等自然災害による
被害への対処及び防災 |
| ➤環境保全 | ➤IT(アジアITイニシアティブ、
アジア・ブロードバンド・イニシアティブ等) | |
| ➤食糧 | ➤開発支援(IAI、メコン地域開発、
BIMP-EAGA、人材育成等) | ➤保健(SARS、鳥インフルエンザ等) |
| ➤知的財産 | | |

→ASEAN+3の枠組みが中心的な役割。

17分野、48協議体が存在。ASEAN+3次官級による東アジアスタディグループ(EASG)諸措置は地域の機能的協力の相当分をカバー。

→他方、他の諸国(特に、豪州、NZ、印、米等)も各分野で不可欠の貢献。

FTA網、アジア海賊対策協力協定交渉、密入国・人身取引に関する「バリプロセス」、「スマトラ沖大地震」の際の「コア・グループ」等。

➤ASEANをハブとする地域協力が進展

- 日、中、韓: ASEAN+3協力の進展。ASEANとのFTA/EPA締結に向けた動き。日中韓三国間協力も進展。
- 豪州、NZ: ASEAN+CER首脳会議。FTA締結に向けた動き。
- 印: ASEAN+印首脳会議。FTA締結に向けた動き。
- A R F: 安全保障問題に関するフォーラム。信頼醸成、予防外交、更に将来的には紛争解決を目指す。
- 東アジア首脳会議: 昨年12月にマレーシアで初めて開催。

東アジア共同体構築が地域の共通の目標に。